

第 18 回日本乳がん看護研究会

WEB 開催

日時 [オンデマンド配信] 11 月 26 日(日)～2024 年 2 月 29 日(木)

テーマ 乳がん治療を受ける患者・家族へのサバイバーシップ支援

プログラム 教育講演「がんサバイバーシップケアとは：地域連携モデル開発からの学び」土屋雅子(武蔵野大学看護学研究所)／実践報告「大学病院における看護師長の役割と乳がん看護認定看護師活動の両立に向けて」倉田典子(富山大学附属病院)／「リンパ浮腫ケア外来とリハビリテーション科の協働」笹原奈津美(船橋市立医療センター)／シンポジウム「患者とともに歩むサバイバーシップ支援」湯田昌美(国立がん研究センター東病院)、吉川朋子(福井赤十字病院)、瀬戸牧子(北里大学病院)

参加申込締切 12 月 25 日(月)

参加費 会員 4000 円、非会員 5000 円

参加申込方法 下記 Web サイトの申込フォームから

問い合わせ先 事務局

〒273-8710 船橋市海神町西 1-1042-2 東京医療保健大学千葉看護学部臨床看護学領域内

✉ info@jabcn.jp

HP <http://www.jabcn.jp/activity/>

東京都委託事業

2023 年度助産師教育指導講習会

WEB 開催

会場開催

日時・開催方法・内容

【第 3 回 保健指導に役立てよう】

12 月 3 日(日)13:30～16:30、会場：東京都助産師会館、「姿勢と身体の使い方からみる産前・産後の骨盤ケア—フィジカルアセスメントの重要性」國吉裕史(鍼灸整骨院サステーナ院長)

12 月 14 日(木)13:30～16:30、Zoom、「子育てと介護を同時に担う母親の課題と支援のポイント」室津瞳(NPO 法人こだまの集い代表理事)

12 月 17 日(日)9:00～12:00、Zoom、「助産師が知っておくべき乳がん関連の話 ピンクリボン助産師アカデミー」Satoko Fox(放射線科医)

12 月 18 日(月)9:00～12:00、Zoom、「赤ちゃんの頭のかたち 0 歳からの頭のかたちクリニック」草川功(小児科医)／13:30～16:30、Zoom、「家族支

援に活かすケアリング・マスキュリティ」寺田由紀子(帝京大学医療技術学部看護学科)

12 月 23 日(土)13:30～16:30、Zoom、「新生児・早産児の成長発達ケアと NIDCAP — NICU の赤ちゃんと家族の理解のために」内海加奈子(都立墨東病院 NICU 副看護師長、NIDCAP トレーナー)

【第 4 回ウィメンズヘルス】

2024 年 2 月 2 日(金)13:30～16:30、Zoom、「子育てに関わる大人の発達障害」渡邊香織(横浜市立大学附属病院、精神看護専門看護師)

2 月 3 日(土)9:30～12:30、Zoom、「無痛分娩における助産師の役割」今井晶子(愛育病院、助産師)

2 月 7 日(水)9:30～12:30、Zoom、「メンタルヘルスが気になる妊産婦との対話ポイントと助産師ができる支援」三田村康衣(国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センターリサーチフェロー、精神科医)

2 月 9 日(金)9:30～12:30、Zoom、「乳児の成長・発達の観察ポイント」和田友香(国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター新生児科医長)

2 月 15 日(木)9:30～12:30、会場：東京都助産師会館、「オキシトシンを手がかりに周産期ケアを創る」堀内成子(聖路加国際大学学長)／13:30～16:30、「抱っことおんぶ」園田正(抱っことおんぶの研究所理事長)

受講費 無料

参加申込 各回、開催月の前月 1 日より受付。下記 Web サイトから登録

HP <https://coubic.com/jmat>

問い合わせ先 東京都助産師会

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-19-18

☎ 03-5981-3033

FAX 03-5981-3034

HP <https://jmat.jp/midwife/>

日本周産期・新生児医学会

第 42 回周産期学シンポジウム

会場開催

日時 2024 年 1 月 26 日(金)～27 日(土)

会場 つくば国際会議場(茨城県つくば市)

テーマ 周産期の栄養と代謝を考える

プログラム [プレングレス] 講演 1「わが国における妊婦の栄養管理の歴史：2021 年新たな妊婦の体重増加指導の目安策定までの変遷」伊東宏晃(浜

松医科大学産婦人科学)／2「The First 1,000 daysにおける早産低出生体重児の栄養管理と展望」板橋家頭夫(愛正会記念茨城福祉医療センター)／3「短腸症候群の栄養管理 update」加治建(久留米大学医学部外科学講座小児外科部門)／[共催セミナー] 専門医制度委員会報告 高橋尚人(B領域委員長／東京大学医学部附属病院小児・新生児集中治療部), 関沢明彦(A領域副委員長／昭和大学医学部産婦人科学講座)／周産期学シンポジウム「周産期の栄養と代謝を考える」[午前の部] 1 周産期学シンポジウム運営委員会全国調査報告 鷺尾洋介(岡山大学病院小児科)／2「母体の栄養状態が胎児の血中酸化状態へ与える影響」長野伸彦(日本大学医学部附属板橋病院小児科・新生児科)／3「超低出生体重児の修正満期における血中脂肪酸分析 正期産児の臍帯血との比較」金井雄(筑波大学小児科)／4「早産児における多価不飽和脂肪酸栄養とオキシリピンの関係」菅沼広樹(順天堂大学小児科)／5「プロバイオティクスが超低出生体重児の腸内環境に与える影響」小林玲(新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター)／6「超早産児における修正 40 週までの成長指標, 成長度と 3 歳時神経発達予後の関連性の検討」前田剛志(名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門)／[午後の部]「妊娠中の栄養と代謝を考える」1 周産期学シンポジウム運営委員会全国調査報告 金川武司(国立循環器病研究センター産婦人科)／2 基調講演「妊娠中の栄養の課題—『妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針』の活用に向けて」瀧本秀美(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)／3「子どものメンタルヘルス改善を目指した妊娠中至適体重増加量の提案」寺田周平(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野, 聖隷浜松病院産婦人科)／4「妊娠初期の血糖変動と妊娠高血圧症候群: 周産期領域における血糖変動の臨床的意義とバイオマーカー」田野翔(名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学)／5「Fetal Origins of Obesity: 超音波を用いた胎児脂肪量の評価とその規定因子の解明」池ノ上孝(慶應義塾大学医学部産婦人科学教室)／6「糖代謝異常合併妊婦の個別化栄養療法に向けた個人代謝量の推移調査」衛藤英理子(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学病室)／ほか

問い合わせ先 事務局

株式会社プロコムインターナショナル

☎ 03-5520-8821

✉ 42symposium@procom-i.jp

HP https://www.jsnrm.jp/modules/meeting/index.php?content_id=8

第5回日本看護シミュレーション ラーニング学会学術集会

会場開催

日時 2024年2月12日(月・祝)

会場 東京都立大学荒川キャンパス(東京都荒川区)

テーマ シミュレーション基盤型看護教育のエビデンスと質保証

プログラム 基調講演「アクティブラーニング; ルーブリック評価の活用と評価(仮)」松田岳士(東京都立大学大学教育センター教授, 教学 IR 推進室データ管理・分析部門長)／特別講演1「医療施設におけるシミュレーション基盤型教育と質評価(予定)」Ms. Sabrina Koh (Deputy Director, Nursing Education and Development (NED), Sengkang General Hospital, Singapore)／2「ホームケアにおけるシミュレーション基盤型教育の有用性と評価(予定)」Ms Torunn Strømme (Ph.D) (Department of Quality and Health Technology, University of Stavanger, Norway)／ワークショップ1「研修企画のエビデンスと質保証」阿部幸恵(東京医科大学医学部看護学科教授)／2「シミュレーション研究のエビデンスと質保証: 教育・実践」野島敬祐(京都橋大学看護学部准教授)／ほか

事前登録期限 2024年1月20日(土)まで

参加費 [事前登録] 会員 6000 円, 非会員 7000 円,
[当日] 会員 7000 円, 非会員 8000 円

※大学学部生(大学院生は除く)・専門学校生は当日受付のみ, 学生証提示で無料

問い合わせ先 運営事務局 株式会社ユピア

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21

FAX 050-3737-7331

☎ 052-872-8101(平日 10:00~16:00)

✉ jsl5@yupia.net

HP <https://janssl5.yupia.net/index.html>

※掲載している情報は 10 月 31 日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。